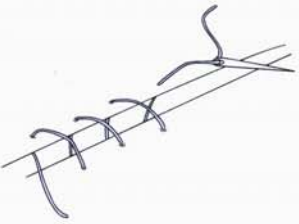


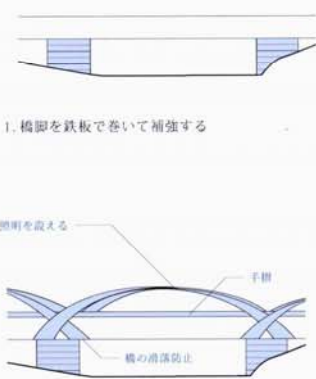
Concept

横浜国立大学橋を補強する鉄板を一本の糸に見立て、キャンパス全体をその糸で縫っていく糸はキャンパス内で屋根に、壁に、ベンチに、テーブルに・・・様々な姿を変えて広がり Educa Fabric として一連の環境を紡ぎ出していく

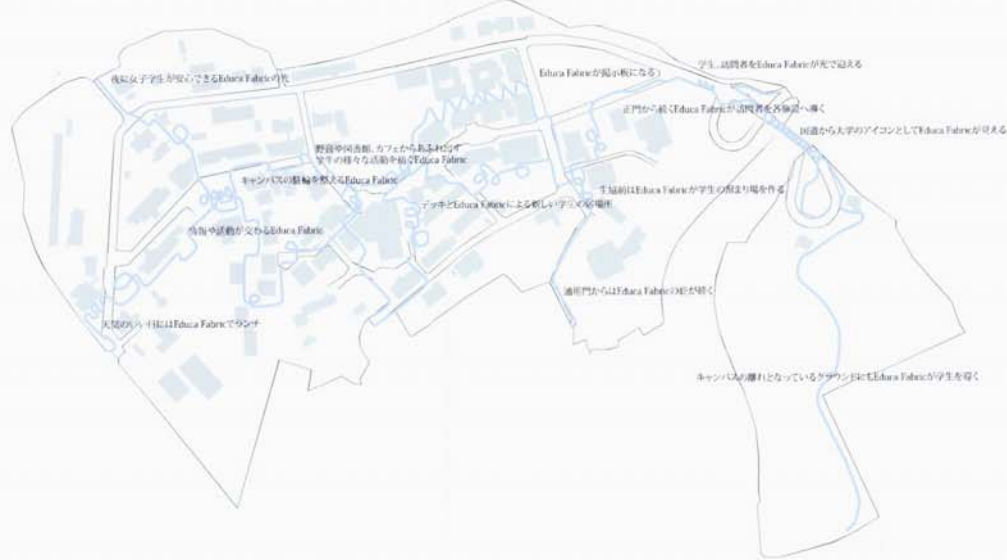
大学生活において、学生は研究室に所属しない限り居場所を持つことが許されない。たとえ研究室に所属しても、研究室の閉鎖された環境は居心地のいい場所とはいえないかもしれない。キャンパス計画において、学生の居場所を整備することが最も重要であり、近年キャンパスにおいて、カフェや屋外のデッキなど学生の居場所が整備されつつあるように感じられる。それらの新しい学生の居場所を紡ぎつつ大学内に共通のアイコンとなるような Educa Fabric を提案することで、異分野間での学生の交流を促進しつつキャンパスをひとつに紡いでいく



Diagram



2. 糸に見立てた鉄板を橋脚から伸ばす



3. キャンパス全体に Educa Fabric を紡ぎ出していく

